



水遊びコーナーで元気に遊ぶ子どもたち

国東町

ドリタグ祭

子育てサークル「マザーズドリームタッグ05」(吉田敬子代表) 主催のドリタグ祭が、7月22日(日)午後1時からアストくにさきで開催されました。市内外から子どもたちと保護者約200名が訪れ、読み聞かせやダンス、ゲーム等で楽しみました。会場では、くにさきボランティアセンターに登録している高校生12名がスタッフとして活躍しました。代表の吉田さんは「これからも子育てサークル活動の輪を、もっと広がってきたいと思っています。」と話しています。



武蔵町

吉弘楽

7月22日(日)、吉広の楽庭八幡社で吉弘楽(国指定重要無形民俗文化財)が行われました。

吉弘楽は、南北朝時代、大友家の分家、吉弘正賢が始めたとされ、戦勝と領内の五穀豊穡、虫よけを祈願したと伝えられています。

地元住民でつくる吉弘楽保存会と吉弘楽愛護少年団の楽人が、かぶと、えぼし、陣笠をかぶり、腰蓑にわらじ姿で胸に太鼓を抱き、背中に旗を差したいでたちで輪をつくり、笛と鉦が奏でられる中、時にゆっくり動き、時に軽快に飛び跳ね、全身を大きく動かして太鼓をたたき勇壮な舞を披露しました。



安岐町

朝来小学校に大分合同新聞社から
パネルと感謝状贈呈

大分合同新聞社が発行する「飛び出せ学校・大分合同小学生新聞『私たちの御田植祭』」を製作した朝来小学校の4、5年生6名の皆さんに、7月6日(金)に同社から、小学生新聞のパネルと感謝状が贈られました。これは、児童6名がふるさとに伝わる御田植祭の取材を通して、地域と学校のきずなを一層深めたことが評価されたものです。



国見町

海の家「ロビンソンの小屋」がオープン

7月21日(出)に「くにみ海浜公園」内に国見町商工会青年部(秋元淳司部長・部員14名) 手造りの海の家「ロビンソンの小屋」がオープンしました。

玄米パンを使った「ホットドック」や、うどんをキャベツ・トマトなどの野菜とゴマドレッシングでサラダ感覚で食べる「サラダうどん」の販売や、土・日曜日には、バナナポートやバギーのレンタルも営業しています。日曜日には、難破して「くにみ海浜公園」に流れ着いた「ロビンソン」に会えるかもしれませんよ。